

太陽熱を利用した調理器の商品化支援

中里アドバイザーによる支援

特許調査で知的所有権センターに相談があったことをきっかけに支援開始

知的財産権に関するスキルアップのサポート

- ◆ 知的財産の重要性、制度概要説明
 - ◆ 中小企業に対する特許庁の支援策(費用減免・早期審査等)紹介
- ### 特許権・商標権取得に向けたサポート
- ◆ 先行技術及び先行登録商標の調査の支援
 - ◆ 調査結果に基づいて広く・強い権利取得のための出願等支援

株式会社京葉サンビーム

- ◆ 自社技術(プラスチック成型)を利用した独自製品の販売を目標をきっかけにして、知的財産権制度の活用
- ◆ 特許等の事前調査および特許権等の取得により他社権利侵害を回避するとともに自社製品の保護を図りたい

特許情報活用による成果

- ◆ 他社の特許権等の非侵害を確認
- ◆ 権利化
特許出願(2007年5月)
商標出願(2007年6月)

・知的財産権に関する意識向上
・新商品開発前、アイデア段階での特許等の調査を積極的に確実に実施して特許等の出願による積極的な権利化

この支援によって開発・販売された商品

商品名「ソーラークッカー」

晴天時「もったいないなあ、この光を何かに使えないかな」。その思いを形にしたのが「反射集光型のソーラークッカー」。地元の工業大学と共同開発しました。

支援先企業の概要

- 会社名 株式会社京葉サンビーム ■代表取締役 内田 辰三郎
- 住所 栃木県小山市乙女 ■設立 1966年 ■資本金 3,000万円
- ホームページ <http://www.keiyosunbeam.com/>

中里 浩(栃木県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

3年程前に、スポーツ用品のアイデアについての特許相談をきっかけに、その後種々のアイデアにつき先行技術調査・産業財産権制度全般の知識向上について継続的な支援を行い、今回のソーラークッカーの新商品開発支援につながりました。現在もこの商品の更なる付加価値向上のために支援活動を継続中です。



平成20年1月現在

